



2015年3月期 中間決算の概要

1 契約の状況	1 ページ	4 資産運用の状況	6 ページ
2 損益の状況	4 ページ	5 基礎利益の状況	8 ページ
3 資産・負債の状況	5 ページ	6 健全性の状況	9 ページ

株式会社 かんぽ生命保険
2014年11月14日

※1 データは、いずれも単体ベースのものです。
※2 金額表示は、特に指定のあるものを除き、切り捨てています。
※3 本資料は、一般公衆への情報提供を目的とするものであり、当社の株式その他の有価証券の勧誘を構成するものではありません。

1 契約の状況①

- 個人保険の新契約は、124.3万件、金額3兆5,981億円
- 個人年金保険の新契約は、8.6万件、金額3,075億円

< 新契約の内訳 >

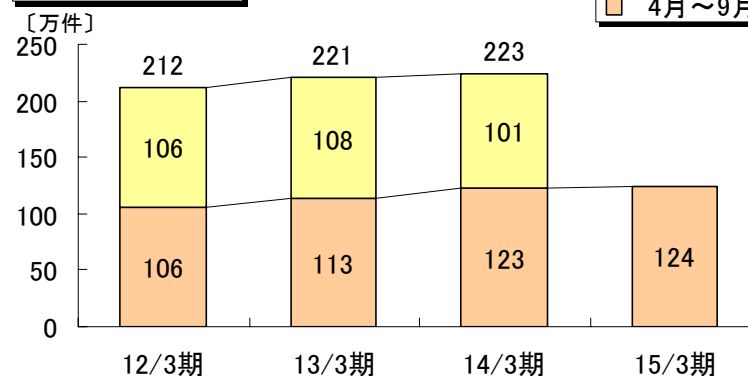
〔単位未満四捨五入〕

		2015/3期 中間		2014/3期 中間	
		件数	金額	件数	金額
個人保険		124.3 万件	3 兆 5,981 億円	122.8 万件	3 兆 5,912 億円
	終身	28.8 万件	9,853 億円	36.0 万件	1 兆 1,910 億円
	養老	58.8 万件	1 兆 8,533 億円	76.9 万件	2 兆 2,933 億円
	学資	36.5 万件	7,578 億円	9.9 万件	1,061 億円
個人年金保険		8.6 万件	3,075 億円	8.8 万件	3,108 億円

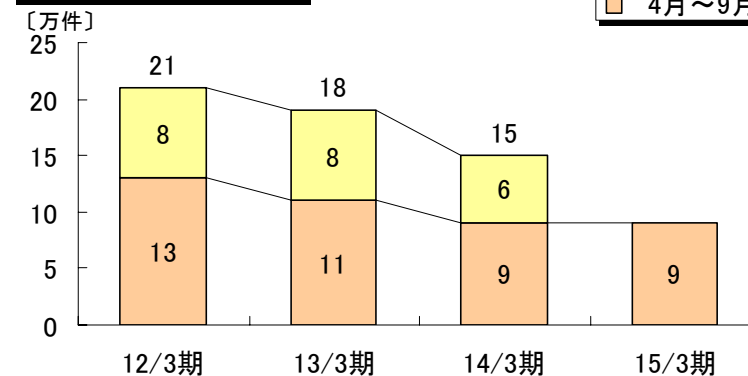
- ※1 主な項目について掲載しております。
 ※2 個人保険の金額は、死亡時の支払保険金額等です。
 ※3 個人年金保険の金額は、年金支払開始時における年金原資です。
 ※4 2015/3期 中間の「学資」欄は、2014年4月に発売した学資保険(はじめのかんぽ)を計上しております。

< 新契約の推移 >

個人保険(件数)



個人年金保険(件数)



1 契約の状況②

- かんぽ生命の保有契約は、個人保険1,266万件、金額36兆6千億円、個人年金保険127万件、金額3兆6千億円
- 簡易生命保険契約の保険を合計した個人保険の保有契約は、3,420万件

< かんぽ生命の保有契約の内訳 >

〔単位未満四捨五入〕

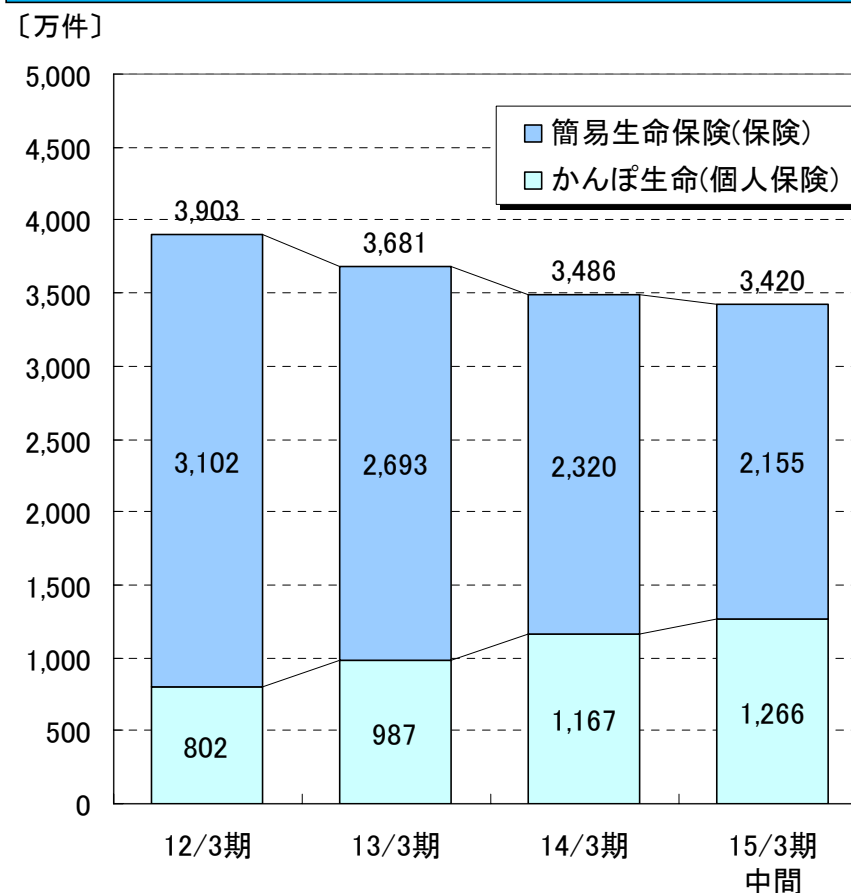
		2015/3期 中間		2014/3期 期末	
		件数	金額	件数	金額
個人保険		1,266 万件	36 兆 5,678 億円	1,167 万件	33 兆 7,357 億円
	終身	301 万件	9 兆 9,087 億円	278 万件	9 兆 1,338 億円
	養老	798 万件	23 兆 9,889 億円	756 万件	22 兆 7,364 億円
	学資	166 万件	2 兆 6,529 億円	132 万件	1 兆 8,485 億円
個人年金保険		127 万件	3 兆 5,971 億円	119 万件	3 兆 4,439 億円

※1 主な項目について掲載しております。

※2 個人保険の金額は、死亡時の支払保険金額等です。

※3 個人年金保険の金額は、年金支払開始前契約の年金支払開始時における年金原資と年金支払開始後契約の責任準備金額を合計したものです。

< 保有契約の推移 >



1 契約の状況③

- 新契約の年換算保険料は、個人保険2,381億円、個人年金保険1,058億円
- 保有契約の年換算保険料は、個人保険2兆3,718億円、個人年金保険6,784億円

< 年換算保険料の内訳 >

《新契約》

	2015/3期 中間	2014/3期 中間
個人保険	2,381 億円	2,399 億円
個人年金保険	1,058 億円	1,085 億円

〔単位未満四捨五入〕

《保有契約》

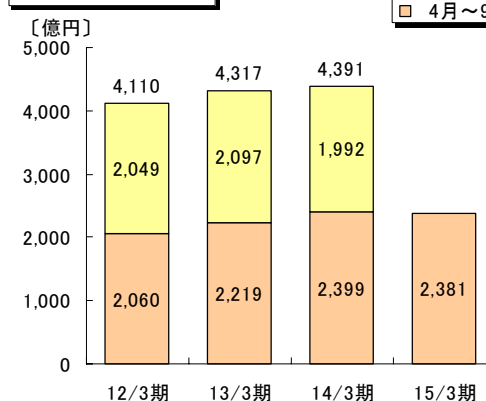
	2015/3期 中間	2014/3期 期末
個人保険	2 兆 3,718 億円	2 兆 1,922 億円
個人年金保険	6,784 億円	6,614 億円

〔単位未満四捨五入〕

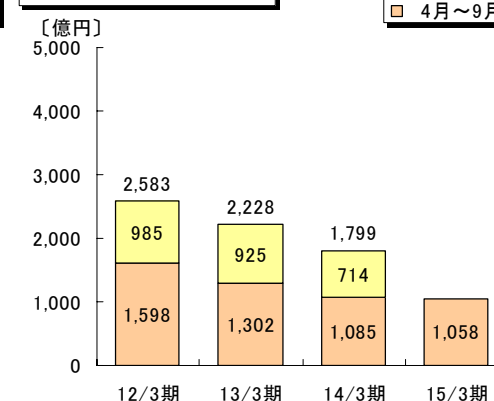
- ※ 1 年換算保険料とは、1回あたりの保険料について保険料の支払方法に応じた係数を乗じ、1年あたりの保険料に換算した金額です（一時払契約等は、保険料を保険期間等で除した金額）。
- ※ 2 保有契約はかんぽ生命の保有契約であり、簡易生命保険契約は含んでおりません。

< 年換算保険料の推移 >

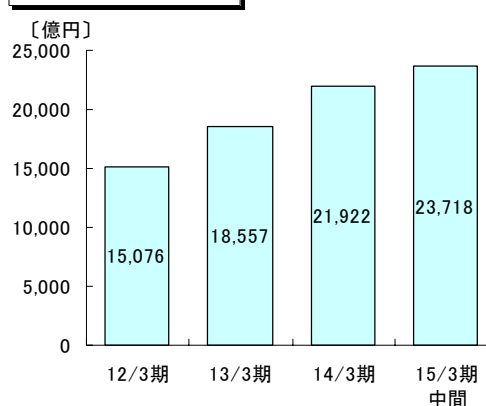
新契約（個人保険）



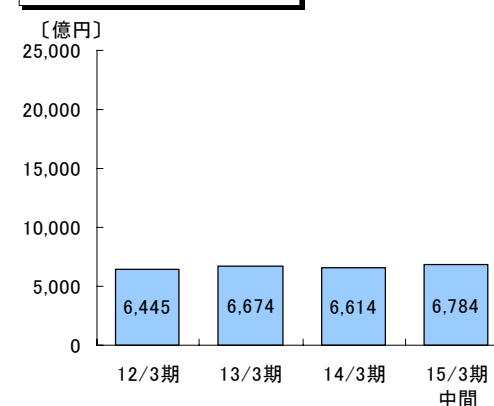
新契約（個人年金保険）



保有契約（個人保険）



保有契約（個人年金保険）



2 損益の状況

■ 経常利益は2,637億円、中間純利益は509億円

< 損益計算書の概要 >

	2015/3期 中間	2014/3期 中間	増減	2014/3期
経常収益	51,717	55,941	△ 4,224	112,339
保険料等収入	30,781	30,943	△ 161	59,116
資産運用収益 (注1)	7,457	7,673	△ 215	15,406
責任準備金戻入額	12,638	15,918	△ 3,280	36,564
経常費用	49,080	53,941	△ 4,861	107,704
保険金等支払金	45,971	50,855	△ 4,884	101,608
資産運用費用 (注2)	77	132	△ 54	181
事業費	2,548	2,541	7	5,130
経常利益	2,637	2,000	636	4,635
特別損益 (注3)	△ 544	△ 379	△ 165	△ 999
契約者配当準備金繰入額	1,354	1,238	115	2,421
税引前中間純利益	738	381	356	1,213
法人税等合計	228	185	42	579
中間純利益	509	195	313	634

〔単位：億円〕

※ 主な科目について掲載しております。

注1 資産運用収益は、利息及び配当金等収入
6,924億円、有価証券売却益 432億円等です。

注2 資産運用費用は、有価証券売却損 49億円
等です。

注3 特別損益は、価格変動準備金繰入額
543億円等です。

3 資産・負債の状況

■ 総資産は85.8兆円、純資産は1.6兆円

< 貸借対照表の概要 >

	2015/3期 中間	2014/3期 期末	増減
資産	858,778	870,886	△ 12,107
現金及び預貯金	18,097	16,635	1,462
金銭の信託	10,309	5,816	4,493
有価証券	678,700	693,789	△ 15,089
国債	501,495	525,229	△ 23,734
地方債	94,315	91,737	2,577
社債	65,961	64,418	1,543
外国証券	16,918	12,394	4,523
貸付金 (注1)	104,828	110,205	△ 5,377
繰延税金資産	6,193	5,926	267
負債及び純資産	858,778	870,886	△ 12,107
負債	841,869	855,541	△ 13,671
保険契約準備金 (注2)	794,021	807,999	△ 13,977
価格変動準備金	6,686	6,142	543
純資産	16,908	15,344	1,564
株主資本合計 (注3)	13,803	13,496	306
評価・換算差額等合計	3,105	1,847	1,258

〔単位：億円〕

※ 主な科目について掲載しております。

注1 貸付金の内訳は、機構貸付 9兆6,471億円、一般貸付 7,733億円、保険約款貸付 623億円です。

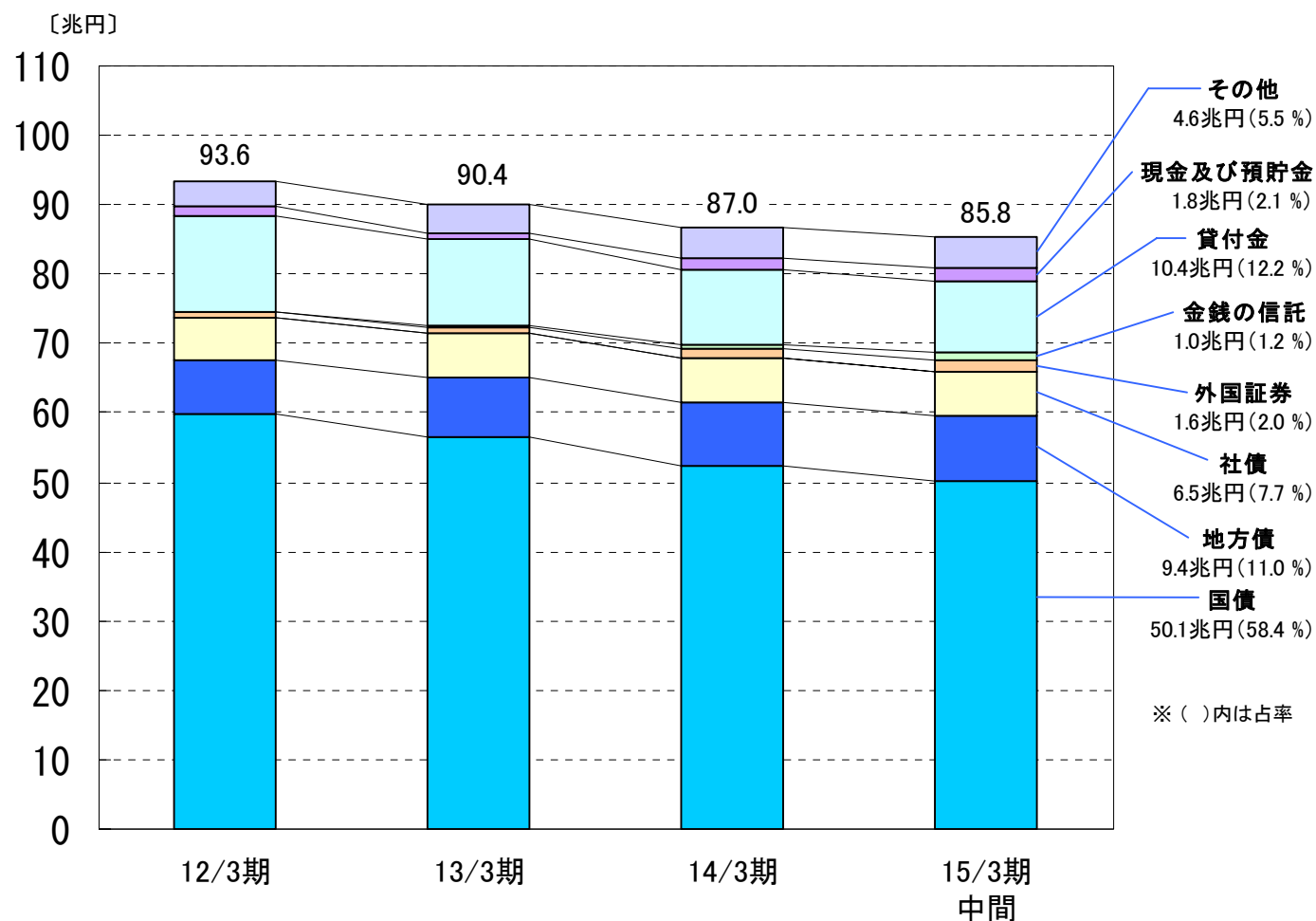
注2 保険契約準備金の内訳は、責任準備金 76兆4,816億円、支払備金 7,503億円、契約者配当準備金 2兆1,702億円です。

注3 株主資本合計 306億円の増加は、退職給付会計基準の改正に伴う期首残高の取崩し 35億円、株主配当金の支払い 168億円、中間純利益の計上 509億円によるものです。

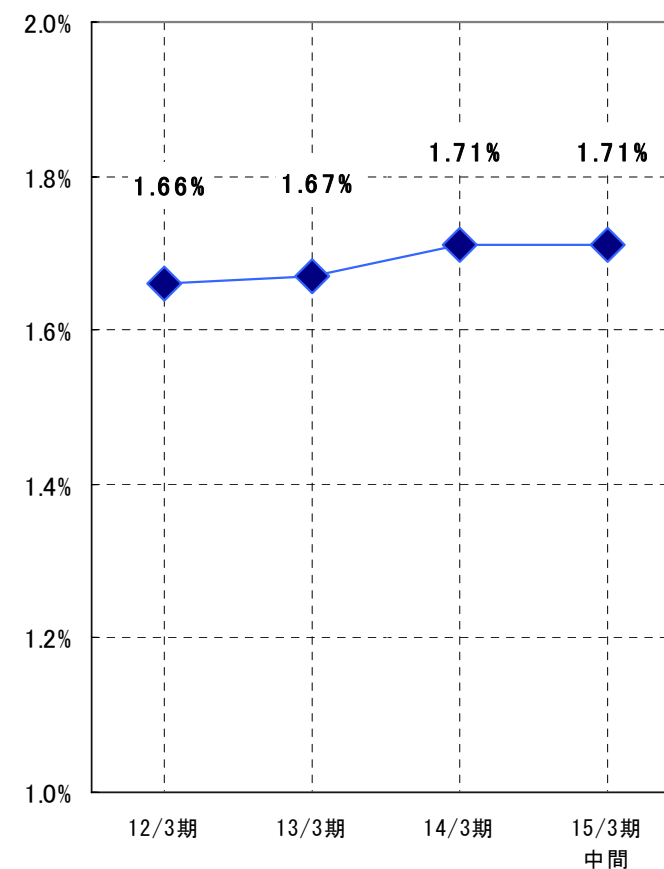
4 資産運用の状況①

- 資産運用は、国債を中心とした有価証券が67兆円、貸付金が10兆円等

< 資産構成の推移 >



< 運用利回りの推移 >



※ 運用利回りは、キャピタル損益等を含めた利回りです。

4 資産運用の状況②

- 満期保有目的の債券及び責任準備金対応債券を含めた有価証券全体の含み益は、5兆2,490億円
- その他有価証券の含み益は、4,467億円（税効果適用後は3,105億円）

< 含み損益の状況 >

	2015/3期 中間		2014/3期 期末	
	帳簿価額	含み損益	帳簿価額	含み損益
合 計	69 兆 6,274 億円	5 兆 2,490 億円	70 兆 5,058 億円	4 兆 5,344 億円
満期保有目的の債券	44 兆 9,611 億円	3 兆 6,937 億円	45 兆 2,573 億円	3 兆 1,697 億円
責任準備金対応債券	16 兆 1,586 億円	1 兆 1,084 億円	17 兆 9,536 億円	1 兆 991 億円
その他有価証券	8 兆 5,076 億円	4,467 億円	7 兆 2,948 億円	2,655 億円
うち 金銭の信託	8,579 億円	1,729 億円	4,990 億円	825 億円

※ その他有価証券の含み損益は、税効果適用前の金額です。税効果適用後の含み損益は、3,105億円（2015/3期 中間）、1,847億円（2014/3期 期末）です。

< 金銭の信託で保有する国内株式の含み損益がゼロになる株価水準 >

	日経平均株価
2015/3期 中間	12,600 円
2014/3期 期末	12,000 円
2013/3期 期末	9,800 円
2012/3期 期末	9,900 円

< 参考指標 >

	日経平均 株価	円ドル	円ユーロ	円金利 (10年国債)
2014年9月末	16,173 円	109.45 円	138.87 円	0.525 %
2014年3月末	14,827 円	102.92 円	141.65 円	0.640 %
2013年3月末	12,397 円	94.05 円	120.73 円	0.560 %
2012年3月末	10,083 円	82.19 円	109.80 円	0.985 %

5 基礎利益の状況

- 危険差益及び順ざやの拡大により、基礎利益は2,680億円

< 基礎利益の内訳（三利源） >

	2015/3期 中間	2014/3期 中間	増減	2014/3期
基礎利益	2,680 億円	2,251 億円	428 億円	4,820 億円
危険差益	1,831 億円	1,335 億円	495 億円	2,904 億円
費差益	575 億円	735 億円	△ 159 億円	1,373 億円
利差益	272 億円	179 億円	92 億円	542 億円

<（参考）基礎利益上の平均予定利率 >

	2015/3期 中間	2014/3期 中間	増減	2014/3期
平均予定利率 (注1)	1.81 %	1.85 %	△ 0.04 %	1.84 %
利子利回り (注2)	1.88 %	1.90 %	△ 0.01 %	1.91 %

注1 平均予定利率は、予定利息の経過責任準備金に対する利回りのことです。

経過責任準備金は、危険準備金を除いた責任準備金により次の式で計算しています。（期始責任準備金＋期末責任準備金－予定利息）× 1 / 2

注2 利子利回りは、基礎利益上の運用収支（キャピタル損益を含まない運用収支）等の経過責任準備金に対する利回りのことです。

6 健全性の状況

- 負債として積み立てた内部留保は、危険準備金2兆5,433億円及び価格変動準備金6,686億円を合わせた3兆2,119億円
- 追加責任準備金は、6兆1,021億円

< 内部留保の積立状況 >

	2015/3期 中間	2014/3期 期末
危険準備金	2 兆 5,433 億円	2 兆 5,887 億円
価格変動準備金	6,686 億円	6,142 億円
内部留保合計	3 兆 2,119 億円	3 兆 2,030 億円

< 追加責任準備金の積立状況 >

2015/3期 中間	2014/3期 期末
6 兆 1,021 億円	6 兆 1,353 億円

※ 独立行政法人郵便貯金・簡易生命保険管理機構からの受再保険の終身年金等を対象に、責任準備金を2011年3月期より10年間にわたり新たに追加して積み立てることとしており、当中間期に積み立てた額は、879億円となります。

< ソルベンシー・マージン比率 >

2015/3期 中間	2014/3期 期末
1,631.5 %	1,623.4 %

< 実質純資産額 >

2015/3期 中間	2014/3期 期末
10 兆 2,152 億円	9 兆 4,422 億円